

苫前町地域おこし協力隊 活動計画書

苫前町有害鳥獣利活用推進事業 中間報告(5月～9月末)

2026年5月～9月期の活動報告・捕獲実績・地域連携における課題・今後の活動。
(農作物被害軽減に向けた取り組みと命の循環・今後の課題～)

作成日:2026年9月末日

報告者:苫前町地域おこし協力隊:河原田 英伸

私の目的は有害鳥獣を有効活用し命を循環させる仕組みを作りたいと考えております。

近年、全国的な課題となっているシカやクマなどによる被害ですが、苫前町でも切実な問題です。

私は、この「有害鳥獣駆除」を単なる対策で終わらせず、地域の新しい産業へと育てるためにやってきました。

具体的には、地域に安心・安全な食肉加工施設をつくり、地元の皆様や観光客が集うレストランやカフェの運営、愛犬・愛猫のための安心なおやつ、美味しい食品を開発し苫前町が目玉となるような商品開発に挑戦します。

現在、私たちの暮らす地域では、野生鳥獣による農林業への被害や生活環境への影響が深刻な課題となっています。

地域の平穏と豊かな自然を守るため、やむを得ず「有害鳥獣駆除」が行われていますが、その多くは捕獲された後、そのまま廃棄処分されているのが現状です。

地域の暮らしを守るためとはいえ、失われる命をただ処分してしまうことへの葛藤や胸の痛みは、現場に関わる共通の思いでもあります。

この仕組みは、単に廃棄物を減らすためだけのものではありません。

駆除にかかるコストを資源化による収益で補い、持続可能な鳥獣対策を実現すること。

ジビエやペット用おやつなどの新しい特産品によって、地域経済と雇用を活性化すること。

そして何より、子どもたちや地域住民に対して「命の尊さ」や「自然との共生」を伝える生きた教育の場となることを念頭にチャレンジさせて頂いております。

北海道全域ではエゾシカの推定生息数が約72万頭(2023年度時点)に達しており、2025年度の道内全体の捕獲数は過去最多の18万頭を記録しています。

命の循環

～苫前町の恵みを無駄なく活かす～

(令和5年度時点)によると、町内におけるエゾシカによる農作物への被害額は年間4,669万円、被害面積は55.9ヘクタールに及びます。



有害鳥獣駆除
農家さんの力に
(Wildlife Damage Control)

命を無駄にしない
解体処理
(Waste Not, Process & Package)

命の循環
つながる食卓
(Cycle of Life - Connected Dining)

恵みに感謝



ペットフード
(Pet Food,
Deer Liver Treats)

鹿肉ジャーキー
(Venison Jerky)

鹿肉

食卓を囲む

有害鳥獣駆除 パトロール回数



2026年
6月から9月末まで



三
走行時間

228時間

合計
活動

57回

捕獲頭数

19



巡回エリア
森道



巡回エリア
農地



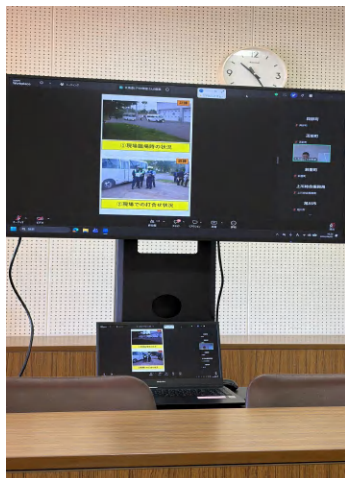
巡回エリア
町内

北海道ヒグマ出没対応机上訓練(オンラインにて参加)

この訓練は、町内にヒグマが出没したという想定のもと、関係部署や警察、猟友会などの関係機関がどのように連携し、迅速かつ的確に住民の皆様の安全を確保できるかを検証・確認する目的で行われたものです。

訓練では、出沒情報の第一報を受けてから、住民への注意喚起、現場への職員派遣、立ち入り規制、そしてハンターへの出動要請にいたるまでのタイムライン(行動手順)を模擬体験し、それぞれの役割や情報共有の課題について具体的な議論が行われておりました。近年、北海道内各地でヒグマの出沒が相次いでいます。

今回の訓練で洗い出された課題をもとに対応マニュアルをさらにブラッシュアップし、万が一の事態にも迅速に対応できるよう、今後も地域の安全・安心な体制づくりに努めて行く机上訓練でした。



苫前町役場内での様子



解体処理施設の見学



増毛町 解体処理施設 株式会社まむふぁむ様



解体処理施設の訪問。(沼田町・雨竜町)



最新の衛生管理と高度な処理技術を備えた、**解体処理施設**の見学をさせていただきました。

見学は、施設の実態や稼働状況を把握するとともに、国際基準である**HACCP(ハサップ)**の考え方を取り入れた衛生管理目標の設定とその運用について深く学ぶことが出来ました。

今回の見学により、解体処理施設における安全・安心な食肉供給の裏側には、徹底した施設構造の工夫と、HACCPを主軸とした衛生管理マニュアルの運用の双方が不可欠であることを学びました。

縁むすびフェス2026

東京交通館



東京交通会館



イベントに使用したポスター

「縁むすびFES2026」

8月30日に東京交通会館で行われた「縁むすびFES2026」に、苫前町の地域おこし協力隊として参加致しました。

イベント全体を通して熱気があり、私たちのブースにも8～9組の方がお話を聴きにきてくれました。

一人ひとりと顔を合わせ、苫前町の魅力や協力隊のリアルな生活について直接伝えられたことは、自分にとっても大きな勉強になりました。



イベント会場風景

土地、空き家物件、建物など情報収集を開始。

チラシなど作成致しました。地域おこし協力隊の家や施設、仕事の場を探しております。

解体処理施設として長島生活改善センター 8月から賃貸契約にて借入。

有害鳥獣駆除の解体処理施設に向け改修工事図面作成・打合せ・見積等行っております。

＼ ご所有の不動産を必要としている人がいます。／

土地・建物・中古物件 車庫・納屋・山林などの情報を 募集しています！

お問合せは
宮前町地域おこし協力隊、河原田（カワハラダ）まで！

080-1894-0666

土地	建物	中古物件	車庫	山林
				
宅地・更地・農地・ 雑種地など	一戸建て・空き家・ 事務所・店舗など	高年数の建った建物や 中古住宅など	ガレージ・カーポート・ 倉庫付き車庫など	山林・原野・ 雑木林など

- ・新規隊員向け住宅も探しています。
- ・既存隊員のなかで飲食店、ゲストハウス開業希望者あり。
- ・事業用物件も探しています！
- ・住民の皆様
情報提供宜しくお願い致します。

お問合せは
宮前町地域おこし協力隊 河原田（かわはらだ）まで
TEL: 080-1894-0666
Mail: sukinakoto999@gmail.com

地域を元気にする仲間を募集しています！
現在 5名 地域おこし協力隊
新規隊員募集中！
地域おこし協力隊とは、地域の活性化や課題の解決のために、地元で暮らす若手・中年・高齢の住民が中心となり、地域に貢献する活動を行う団体です。
宮前町地域おこし協力隊は、宮前町の魅力を発信し、地域を元気にする活動を行っています。
宮前町地域おこし協力隊の活動内容は、地域おこし協力隊のホームページで詳しく紹介しています。
宮前町地域おこし協力隊の活動に興味がある方は、ぜひお問い合わせください。

解体処理施設建築に向け、チームを作成し活動を開始致しました。

地域の課題となっている野生鳥獣による農林業被害や生活環境への影響を解決するため、苦前町より「長島生活改善センター」をお借りし、来春の運用開始に向けて図面引きや調整を行いながら「有害鳥獣駆除の処理施設」へと改修工事を行うことを目標に活動しております。

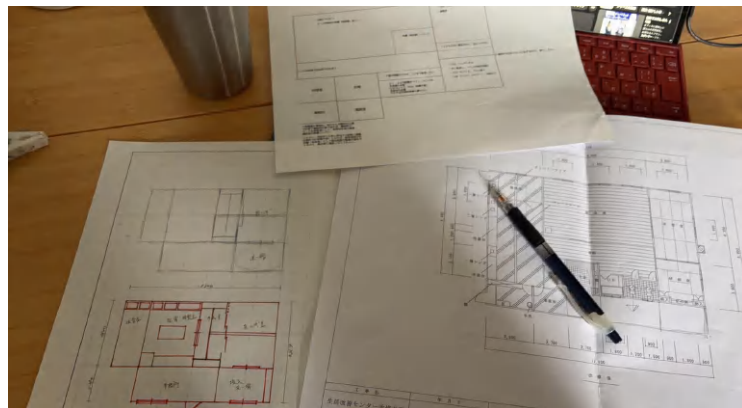
本プロジェクトを安全かつ適切に推進するため、チームを立ち上げ、現在は以下の活動に注力して取り組んでいます。

- ・徹底した衛生・環境対策の設計
- ・安全な搬入・運営ガイドラインの策定
- ・地域への適切な情報公開

今後の展望：

この施設は、単に鳥獣を駆除だけでなく**地域の安全を守り、将来的には地域の資源（ジビエや商業施設）**としての有効活用も視野に入れた施設にしたいと考えております。

来春の稼働に向け、住民の皆様のご理解をいただきながら、安全第一で準備を進めてまいります。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



図面などを作成中です。



現在の長島生活改善センター（イラスト）

その他これまでの活動

- ・苦前町有害鳥獣駆除手続きを行いました。
- ・地元住民の方、町内会長様、猟友会関係者、農林水産業関係者、処理施設運営者様などへ訪問を実施。
- ・猟銃、従事者証発行手続きにて関係各位訪問。
- ・狩猟免状更新に伴う有害鳥獣駆除活動の参加。
- ・多方面有害鳥獣駆除活動に参加(岩見沢市・芦別市)
計4回
- ・狩猟写真撮影会 個人・団体 計2回
- ・羽幌支部苦前猟友会 狩猟者登録申請・書類提出
- ・岩見沢支部岩見沢猟友会 狩猟者登録申請

10月からの活動

- 長島生活改善センターの改修工事に向けた打合せや調整。
- 羽幌支部総会の参加。
- 岩見沢支部岩見沢猟友会への参加。
- 小平町狩猟合同活動への参加。
- 白老町猟友会、襟裳猟友会、江別猟友会への挨拶、駆除活動。
- 町内狩猟・有害鳥獣活動、パトロール、捕獲、解体処理活動。
- 苦前町・岩見沢市猟友会 合同巻狩りの立案・実施。(予定)
- わな免許の取得、研修・技術習得。
- 地域おこし協力隊としての活動参加。
- 苦前町の方々との交流、情報公開、地域活動への参加。
- その他、町外猟友会との交流、連携、企画立案。
- その他、協力隊として取り組んだ事の継続。